

(目次) 頑張る地方応援プログラム

都道府県名	団体コード	市区町村名	プロジェクト名称	プロジェクトの目的、概要 及び 具体的な成果目標	プロジェクト 期間	具体の事業・施策(名称)	具体の事業・施策 (事業概要)	事業費 (計画全体) (単位:千円)	事業費 (平成20年度) (単位:千円)	政策分野 の分類 (①～⑪)	新規・継続 の区分			
群馬県	104442	川場村	行政経営改革プロジェクト	(目的、概要) 雇出の抑制を図るため、給与関係経費の削減、組織の効率化、事務事業の見直しを行い、行政改革に取り組み、「自らの地域は自らの手で」という住民活動を支援していく。 (具体的な成果目標) 職員定数を平成18年度58名から平成22年度48名とし、4年間で10名の削減(△17.2%)を図る。また、行政区ごとの地域づくり事業の実施により、村民が満足して生活できる村づくりを応援援助する。(毎年400万円程度)	H19～H22年度	職員定数削減	4年間で10名の削減	0	0	①地域経営改革プロジェクト	継続			
						地域活性化対策	各地区での村づくり応援援助	16,000	4,000					
						総計		16,000	4,000					
			ホームページアドレス(ある場合のみ) http://www.vill.kawaba.gunma.jp/											
			新たな農業支援組織整備プロジェクト～「農業生産法人の設立」～	(目的、概要) 大規模経営が可能な地域支援が強化される一方で、地形条件等により規模拡大が図れない条件不利益地域が取り残される傾向にある。これらに対応するため、新たな農業生産法人の設立をめざし、農林産物等の生産から流通まで一貫した総合支援を促進する。 (具体的な成果目標) ・農業生産法人H21年度設立開始・川場産こしひかりH18産米取扱数量900俵→H21産米取扱予定数量1,500俵・川場産農林産物の皆田谷区内流通・川場産農産物取扱協力店(H18)10店舗→(H21)15店舗・農林産物等の加工業務・生食規格に適合しない野菜の有利販売・遊休農地拡大防止(H18)65ha→(H21)58ha	H19～H21年度	農業生産法人設立推進事業	平成21年度設立予定	3,500	2,500	②地場産品発掘・ブランド化プロジェクト	継続			
						農業生産法人設立に向けた拠点施設整備	平成21年度までに15店舗	2,000	0					
						農作物ブランド化推進事業	平成21年度米取引予定数量1500俵	3,000	1,000					
			ホームページアドレス(ある場合のみ) http://www.vill.kawaba.gunma.jp/											
			明日を担う子どもたち育成支援プロジェクト	(目的、概要) 川場村の将来を担うすべての子どもたちが健やかに育つよう、医療費の無料化を実施。また、少子化対策として3子目以降の出産者に対して祝い金を交付する。自主自立の小さな村の子どもたちの感性と創造性を高めるため、海外のホームステイを実施する。 (具体的な成果目標) 平成19年度までは小学生のみ福祉医療費無料化であるが、平成20年度より全ての児童・生徒中学生までを医療費無料化。(H19年度対象者450人→H21年度対象者500人)・出生数の増加(H19)25人→35人、中学3年生希望者全員の海外ホームステイの実施。(毎年35人程度)	H19～H21年度	福祉医療費無料化推進	全ての児童・生徒中学生までを医療費無料化	100,680	46,008	③少子化対策プロジェクト	継続			
						少子化対策	3子目以降の出産者に対して祝い金を交付	2,100	700					
						中学生国際交流事業	3年生希望者全員の海外ホームステイの実施	28,200	9,432					
			ホームページアドレス(ある場合のみ) http://www.vill.kawaba.gunma.jp/											
田園理想郷定住促進プロジェクト	(目的、概要) 二地域交流居住及びU・J・ターン者に安心して住める住宅や土地の提供を行い、地域の生活環境や情報発信を積極的に行うことを目的とする。 (具体的な成果目標) メディアの広報媒体の活用・ホームページの掲載・広報誌の発行(年12回)・首都圏での田舎暮らし説明会の開催(年2回)・地域環境に沿った住宅建築への助成(年10件程度)	H19～H21年度	情報発信事業	ホームページの掲載・広報誌の発行	7,260	2,420	⑤定住促進プロジェクト	継続						
			美しいむらづくり助成金制度	地域環境に沿った住宅建築への助成	3,000	2,500								
			川場村紹介パンフ作成事業	紹介パンフ作成	6,360	1,000								
ホームページアドレス(ある場合のみ) http://www.vill.kawaba.gunma.jp/														
交流事業による里山再生プロジェクト	(目的、概要) 木材価格の低迷や担い手不足により荒れた里山の再生について、都市と農山村交流を基調とし、ボランティア・地権者・行政が協働して里山再生を自然豊かな農山村空間の形成を目指す。 (具体的な成果目標) 里山エリアの指定(127ha)・森林保全活動実施(H19)150人→(H21)300人・森林保育事業(5ha/年)・林道整備(H19)1路線→840m・憩いの広場整備(H21)2か所・案内板整備(H20.21)10か所・古道再生(H19.20.21)6路線・有害鳥獣対策(H20.21)有害鳥獣生態調査・捕獲器具購入	H19～H21年度	里山再生住民運動の推進	平成21年度までにボランティア300人の参加を目指す	8,600	1,600	⑩環境保全プロジェクト	継続						
			後山(虚空蔵山)森林保全・育林事業	平成21年度までに15haを整備	10,900	3,500								
			憩いの空間整備事業	平成21年度までに2か所・案内板10か所	50,000	500								
ホームページアドレス(ある場合のみ) http://www.vill.kawaba.gunma.jp/														

- ※1 「プロジェクトの目的、概要及び具体的な成果目標」、「具体の事業・施策(事業概要)」欄は、個票から適宜要約してください。
 ※2 「プロジェクトの期間」欄は、プロジェクトを構成する事業・施策の計画年度をもとに記入してください。
 ※3 「政策分野の分類」欄には、以下の1～11のいずれか1つを記入してください。なお、複数の政策分野に重複すると考えられる場合は、各地方公共団体の判断により、最も近いものを記入してください。
 1 地域経営改革プロジェクト、2 地場産品発掘・ブランド化プロジェクト、3 少子化対策プロジェクト、4 企業立地促進プロジェクト、5 定住促進プロジェクト、6 観光振興・交流プロジェクト、7 まちなか再生プロジェクト、8 若者自立支援プロジェクト、9 安心・安全なまちづくりプロジェクト、10 環境保全プロジェクト、11 その他
 なお、「丸付き数字」等は用いず、「半角数字のみ」を記入してください。
 ※4 「事業費」欄は、総事業費を記入してください。
 ※5 「団体コード」欄には、6桁の地方公共団体コードを半角数字で記入してください。
 ※6 「新規・継続の区分」欄は、平成19年度に応募したプロジェクトの継続であるものについては「継続」に、平成20年度に新たに応募するプロジェクトについては「新規」にそれぞれ分類してください。
 なお、平成19年度に応募したプロジェクトの変更、追加、分割等を行った場合においては、おおむね以下の例を参考として、各地方公共団体の判断により、「継続」又は「新規」に分類してください。また、「新規」の場合、応募する前に、その内容を住民に公表してください。
 (分類例)
 (1) 事業費の変更 → 「継続」
 (2) 成果指標や事業・施策等の軽微な変更 → 「継続」
 (3) プロジェクト名の変更 → 成果指標や事業・施策等の実質的変更を伴う場合は、住民に公表した上で「新規」とし、その他のものは「継続」
 (4) プロジェクトの分割 → 成果指標や具体の事業・施策等の実質的変更を伴う場合は住民に公表した上で「新規」とし、その他のものは「継続」
 ※7 「ホームページアドレス(ある場合のみ)」の文字は削除した上で、ホームページアドレスを記入してください。

頑張る地方応援プログラム

都道府県名	群馬県	市町村名	川場村
プロジェクト名	行政経営改革プロジェクト	新規・継続の区分	継続
プロジェクトの目的、概要及び具体的な成果目標	<p>(目的、概要) 本村の厳しい財政状況の中では、収入の増加は見込めない状況下であり、いかに歳出の抑制を図るかが重要な課題である。給与関係経費の削減、組織の効率化、事務事業の改革、経費の削減等を積極的に進め、行財政改革に取り組んで行かなければならない。そうした中で、最小限の経費で最大限の効果を上げるような行政運営を進める必要がある。</p> <p>行政事務が複雑・多様化の中で、効率的な行政を進めるため、広い視野や柔軟な発想を持つ職員の人材育成と確保に努め、職員の資質向上に取り組んでいく。また、「自らの地域は自らの手で」という住民活動を支援するとともに、その環境整備を図っていく。</p> <p>(具体的な成果目標) ・職員定数削減・・・平成18年度58名→平成22年度48名(△17.2%) ・行政区ごとの地域住民総参加による地域づくり事業の応援・援助(毎年400万円程度)</p>		
プロジェクトの期間	平成19年度～平成22年度	政策分野の分類 (①～⑪)	①地域経営改革プロジェクト
住民への公表の方法 (ホームページアドレス等)	川場村公式ホームページに公表(http://www.vill.kawaba.gunma.jp/)		
プロジェクトを構成する具体の事業・施策			
名称	事業概要	総事業費 (単位：千円) (うちH20事業費)	
職員定数削減	<p>・役場の組織機構について、関連した業務全般の管理体制のつながりの強化と柔軟な組織運営を行うため、平成18年度にグループ制を導入した。今後、事務事業の状況に即した分掌事務を見直し、職員の適正配置を行い、職員定数を平成22年度までに10名の削減(△17.2%)を図る。職員給では、普通会計ベースで21.06%(△69,654千円)の削減を図る。</p>	0 (0)	
地域活性化対策	<p>・村の行政区単位を基本とした地域において、地域住民の参加と創意、責任によって地域づくり事業を実施する行政区に交付金を支給する。</p>	16,000 (4,000)	
総計		16,000 (4,000)	
その他特記事項			

頑張る地方応援プログラム

都道府県名	群馬県	市町村名	川場村
プロジェクト名	新たな農業支援組織整備プロジェクト ～「農業生産法人の設立」～	新規・継続の 区分	継続
プロジェクトの 目的、概要及び 具体的な成果目 標	<p>(目的、概要)大規模経営が可能な地域への支援が強化される一方で、地形条件等により規模拡大が図れない地域の支援が疎かになる傾向にある。本村農業の振興を展望したとき、新たな農業支援組織の設立が必須である。この様なことから早急に組織設立に向けた準備会を発足させ、本来の趣旨である「農業者のための法人」設立を目指し、農林産物等の生産・加工・販売・流通に至るまでの総合支援を行い、本村農林産物の販路拡大・ブランド化を促進する。</p> <p>(具体的な成果目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業生産法人設立→H21年度組織設立運営開始 ・川場産こしひかり18年産米取扱数量900俵→21年産米目標取扱数量1,500俵 ・川場産農林産物の世田谷区内流通:川場農産物扱協力店(H18)10店→(H21)15店 ・農林産物等の加工業務:生食販売規格に適しない野菜の有利販売 ・遊休農地防止(H18)65ha→(H21)58ha 		
プロジェクトの 期間	平成19年度から平成21年度	政策分野の分類 (①～⑪)	②地場産品の発掘・ブランド化プロジェクト
住民への公表の 方法(ホームページ アドレス等)	川場村公式ホームページに公表(http://www.vill.kawaba.gunma.jp/)		
プロジェクトを構成する具体の事業・施策			
名称	事業概要	総事業費 (単位:千円) (うちH20事業費)	
農業生産法人設 立推進事業	農業従事者の高齢化や遊休農地の増加防止を図るため、法人設立に向けた準備会議を組織し、今後の川場村の農業振興に実益となるような法人設立を目標に検討協議を行う。具体的には準備会議の開催・先進地調査の実施・適正人材の確保・農業生産法人設立調査業務委託等を実施する。	3,500 (2,500)	
農業生産法人設 立に向けた拠点 整備	法人設立に向けた拠点施設の設置の検討を行い、業務遂行に必要な設備、機械器具等の検討を行う。	2,000 (0)	
農作物ブランド 化推進事業	村内生産農産物のブランド化に向け、特別栽培農産物認定制度の認証や各種農産物栽培の肥料・農薬等の試験圃場(実証試験)を設置し村内に普及させると共に、消費者と生産者の相互交流による信頼関係の確立を図り、安全性をアピールする。	3,000 (1,000)	
総 計		8,500 (3,500)	
その他特記事項			
※本事業を遂行するために必要となる農業生産施設は、高率補助事業の導入により整備を行うこととする。			

頑張る地方応援プログラム

都道府県名	群馬県	市町村名	川場村
-------	-----	------	-----

プロジェクト名	明日を担う子どもたち育成支援プロジェクト	新規・継続の区分	継続
プロジェクトの目的、概要及び具体的な成果目標	<p>(目的、概要)「川場の子どもは、川場の宝・だからみんなで育てましょう」のスローガンのもと、村の将来を担う子どもたちの健康管理を図ると共に、保護者の医療費軽減を図るため出生してから小学校卒業までの医療費の無料化を実施している。今後は中学校卒業までの医療費の無料化を行う。また、少子化対策として、3子目以降10万円を祝い金として交付する。・自主自立の小さな村の子ども達の感性と創造性を高めるため、中学生を対象に海外のホームステイを実施する。</p> <p>(具体的な成果目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H19年度福祉医療費無料対象小学生450人→H21年度対象小・中学生に拡大500人 ・出生数の増加(H19)25人→(H21)35人 ・中学3年生希望者全員の海外ホームステイの実施(年35人程度) 		
プロジェクトの期間	H19年度～H21年度	政策分野の分類 (①～⑪)	③少子化対策プロジェクト
住民への公表の方法 (ホームページアドレス等)	川場村公式ホームページにより公表 (http://www.vill.kawaba.gunma.jp/)		

プロジェクトを構成する具体の事業・施策

名称	事業概要	総事業費 (単位：千円) (うちH20事業費)
福祉医療費無料化推進	・すべての児童・生徒が心身共に健やかに育つよう中学校卒業までの福祉医療費無料化の実現	100,680 (46,008)
少子化対策	3子目以降の出生者に対して祝い金を交付する。	2,100 (700)
中学生国際交流事業	・夏季休暇を利用して、中学3年生を対象にアメリカワイオミング州へのホームステイを実施。海外の生活、文化の見聞き、国際感覚を身につける。	28,200 (9,432)
総計		130,980 (56,140)

その他特記事項

頑張る地方応援プログラム

都道府県名	群馬県	市町村名	川場村
-------	-----	------	-----

プロジェクト名	田園理想郷定住促進プロジェクト	新規・継続の区分	継続
プロジェクトの目的、概要及び具体的な成果目標	<p>(目的、概要) 本村の田園景観は、日本の農村の原風景として評価されている。世田谷区との都市農村交流や観光事業の推進により年々交流人口も増加し、団塊の世代や子育て世代を中心に移住や滞在希望者が増加してきた。そのためにも安心して暮らせる住宅・宅地の情報や地域の生活情報などを積極的に情報発信する。また、二地域交流居住やU・J・Iターンを受け入れ地域活性化を図る。</p> <p>(具体的な成果目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅情報や生活情報の発信(メディアの広報媒体の活用、ホームページ、広報誌の掲載) ・首都圏での田舎暮らし説明会の開催(年2回) ・地域環境に沿った住宅建築への助成(年10件実施) ・移住人口の増(H21までに5件増) 		
プロジェクトの期間	H19年度～H21年度	政策分野の分類 (①～⑪)	④定住促進プロジェクト
住民への公表の方法 (ホームページアドレス等)	川場村公式ホームページにより公表(http://www.vill.kawaba.gunma.jp/)		

プロジェクトを構成する具体の事業・施策

名称	事業概要	総事業費 (単位：千円) (うちH20事業費)
情報発信事業	・メディアの広報媒体の活用 ・広報誌発行 年12回 ・首都圏田舎暮らし説明会 年2回程度他 ・ホームページの掲載	7,260 (2,420)
美しいむらづくり助成金制度	・本村の美しいむらづくり条例に沿った建築物を建てた家主に対して経費の一部を助成する。	3,000 (2,500)
川場村紹介パンフ作成事業	・案内パンフレットを作成し川場村ファンに向けて情報を発信する。	6,360 (1,000)
総計		16,620 (5,920)

その他特記事項

その他特記事項

頑張る地方応援プログラム

都道府県名	群馬県	市町村名	川場村
プロジェクト名	交流による里山再生プロジェクト	新規・継続の区分	継続
プロジェクトの目的、概要及び具体的な成果目標	<p>(目的、概要) 本村の里山は、木材価格の低迷、担い手の高齢化などにより手の入らなくなった森林がそのまま放置される状況となっている。また、それらが原因となり有害鳥獣の被害も多発するようになった。本村では、東京都世田谷区との縁組協定により都市と農山村交流による村づくりを推進している。これらを踏まえて交流を基調とし環境保全に取り組むボランティアや村民、地権者、行政が協働して森林の整備、古道(山道)の再生、休養休憩の場としての広場整備などに取り組む。森林整備や古道の再生、広場整備などにより自然環境の保全、良好な里山の景観を再生し、自然豊かな農村空間の形成を目指し、都市と農山村交流による地域活性化を図る。</p> <p>(具体的な成果目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流による里山再生エリアの指定・・・後山(虚空蔵山)全域(127ha) ・ボランティアと地権者との協働森林保全活動(H19)150人→(H21)300人 ・森林の保全と育林整備→5ha/年 ・古道(山道)の再生整備→2路線/年 ・林道の整備(H19年)一路線L=840mW=3.0mを開設 ・憩いの広場(H21)2カ所・案内板等設置(H20～10カ所) ・有害鳥獣被害対策→有害鳥獣生態調査、捕獲器具購入 		
プロジェクトの期間	H19年度～H21年度	政策分野の分類 (①～⑪)	⑩環境保全プロジェクト
住民への公表の方法 (ホームページアドレス等)	川場村公式ホームページにより公表(http://www.vill.kawaba.gunma.jp/)		
プロジェクトを構成する具体の事業・施策			
名称	事業概要	総事業費 (単位：千円) (うちH20事業費)	
里山再生住民運動の推進	・交流による里山再生プロジェクト計画策定・交流による里山エリア指定(エリア面積127ha)・森林作業ボランティアの育成事業実施・ボランティアと地権者との協働森林保全活動実施	8,600 (1,600)	
後山(虚空蔵山)森林保全・育林事業	・森林保全育林事業の実施(毎年5ha規模、間伐・除伐事業を中心に実施)・林道の整備(1路線、L=840mW=3.0m)・有害鳥獣対策(有害鳥獣生態調査実施、捕獲器具購入)	10,900 (3,500)	
癒しの空間整備事業	・憩いの広場整備(2カ所、展望台・トイレ・花木の植栽)・案内板の整備(エリア内10カ所設置)・古道(山道)の再生事業、癒し空間としての活用(6路線整備)	50,000 (500)	
総 計		69,500 (5,600)	
その他特記事項			